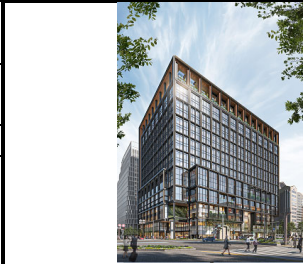


# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福ビル街区建替プロジェクト	階数	地上19F地下4F
建設地	福岡県福岡市中央区天神1丁目11	構造	SRC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	2,550 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,物販店,工場,等	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2021年8月1日
敷地面積	8,605 m <sup>2</sup>	作成者	鹿島建設株式会社
建築面積	7,510 m <sup>2</sup>	確認日	2021年8月31日
延床面積	146,320 m <sup>2</sup>	確認者	鹿島建設株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 83%

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

音環境 4.1, 温熱環境 3.1, 光・視環境 3.3, 空気質環境 4.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.1

機能性 4.2, 耐用性 4.0, 対応性 4.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.3

生物環境 3.0, まちなみ 3.0, 地域性 4.0

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

建物外皮の 4.2, 自然エネ 4.0, 設備システ 2.9, 効率的 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.1

水資源 4.1, 非再生材料の 4.2, 汚染物質 4.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

地球温暖化 3.6, 地域環境 3.5, 周辺環境 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	創造交差点の玄関口として、ライフスタイル、コラボレーションの場、社会的ダイニング、新しいビジネスをコンセプトに様々な用途を利用するゲストを迎える為の計画を行っている。	その他 0
Q1 室内環境	建物利用者の為に快適な室内環境を提供する為、音環境、温熱環境、空気質環境などといった項目を中心に配慮されている。	Q3 室外環境(敷地内) まちなみ・景観への配慮として、景観届の提出など、建物のまちなみ調和に配慮している。地域性への配慮、快適性の向上として、広場や歩道状空地のスペースを確保し、憩いの場に供する。
LR1 エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制、一次エネルギー消費量(建築物)での評価として、標準入力法の省エネ計算を行い詳細に建物評価を行っている。	LR3 敷地外環境 交通負荷抑制や廃棄物処理負荷抑制など建物利用者の為の利便性への配慮がなされている。
Q2 サービス性能	照明計画と内装計画が一体となるよう、用途に適した雰囲気を出す為の間接照明が各所に採用されている。バリアフリー新法の建築物移動等円滑誘導化基準を満たしている。	
LR2 資源・マテリアル	非再生性資源の使用量削減として、リサイクル材の使用、部材の再利用の可能性向上への取組みなどを行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される